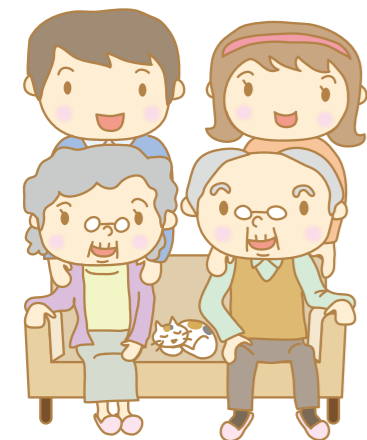




●お話を伺った方 **島田 諭**さん
イオンライフ(株)代表取締役
同社は、利用者と全国600社以上の葬儀社を結ぶサービス「イオンのお葬式」を提供

「イオンのお葬式」のサービスが開始された2009年ごろはまだまだ、お葬式費用は不透明といわれていた時代です。そのよくななか、「イオンのお葬式」が人々に受け入れられた理由のひとつとして、お葬式費用を明瞭にしたことがあげられるでしょう。

「イオンのお葬式」のサービスが開始された2009年ごろはまだまだ、お葬式費用は不透明といわれていた時代です。そのよくななか、「イオンのお葬式」が人々に受け入れられた理由のひとつとして、お葬式費用を明瞭にしたことがあげられるでしょう。



イオンライフ(株)はイオンのグループ企業として、お葬式を中心に相続・身元保証・お墓・永代供養・仏壇・ペット葬などの終活事業を展開しています。また、2018

変わる葬儀 変わる供養

年にスタートした、お葬式費用の割引などが受けられる「そなえ割」(入会無料)は登録者数が増えており、社会的にも終活に対する関心の高さが伺えます。

「ゆっくりと厳かな家族だけのお葬式を望まれる声が増えていきます。これは、価格を抑えたいというよりも、超高齢社会を背景とした参列者の減少や、周囲に迷惑を掛けたくないというご遺族の配慮が影響しているように思います。

「家族の形はそれぞれあり、考え方もさまざまです。それでも、お葬式が死別の悲しみを癒す大切な儀式であることに違いはありません。ご家族だけでの少人数のお葬式を行った後、参列できなかった親戚や故人さまの友人とトラブルになったケースも聞きます。当然ですが、ご自身のお葬式はご自身では行えません。ご遺族もまた、悲しみのなかでは判断力が低下するといわれていますので、事前に家族で話し合い、当社などのお葬式のプロに相談しておくなど、元気なうちにご自分の思いを周囲に託すことが、大切な人の負担を軽くし、ご自身の心配事の解消にもつながります」

終活は元気なうちに、家族で考えよう

供養の変化と、供養を行う意味について
イオンライフ(株)の島田諭社長にお話を伺いました。



「家族の形はそれぞれあり、考え方もさまざまです。それでも、お葬式が死別の悲しみを癒す大切な儀式であることに違いはありません。ご家族だけでの少人数のお葬式を行った後、参列できなかった親戚や故人さまの友人とトラブルになったケースも聞きます。当然ですが、ご自身のお葬式はご自身では行えません。ご遺族もまた、悲しみのなかでは判断力が低下するといわれていますので、事前に家族で話し合い、当社などのお葬式のプロに相談しておくなど、元気なうちにご自分の思いを周囲に託すことが、大切な人の負担を軽くし、ご自身の心配事の解消にもつながります」



元気なうちに
しっかりと

いま考えて、これからの安心に「終活」5ステップ

1 ステップ どうする!? 葬儀・お墓のこと

「家族や周囲に負担をかけたくない」という理由から、葬儀をしない「0葬」や「墓じまい(※1)」を選択する人が増えています。社会の変化に伴い、「家族葬」「一日葬」といった葬儀スタイルが誕生し、供養の形も「永代供養墓」をはじめ「樹木葬」「散骨」など多様化しています。しかし当人が「葬儀はしない」「墓はいらない」と望んでも、家族が同じ考えとは限りません。また、遺された親族間でのトラブルも増えています。

なんとなく考えている「葬儀」や「お墓」のこと。元気なうちにしっかりと考えて備えておけば、きつとこれからの安心につながる編集部は考えます。

そこで今月から5回にわたり、「イオンのお葬式」を提供するイオンライフ(株)を取材、「終活」をテーマにした連載をお届けします。ステップ1となる今月は、誤解の多い葬儀や供養についてとり上げます。この機会にあなたの想いを整理して、家族と共有しておきませんか？

正しく知ることで 見えてくる供養

「家族葬」は家族のみ? 「墓じまい」は墓をなくすこと? 言葉のイメージだけで終活を進めていませんか? 。

墓じまいってどうするの? 改葬をめぐるトラブルは? 。



イオンライフ(株)のコールセンターでは、専門スタッフがお葬式はもちろん、相続やお墓など、終活全般の相談に対応します。最近では「墓じまい」に関する相談、問い合わせも増えていると島田社長は言います。

「墓じまい」とは、「墓をなくすこと」だけと思われる方も多
いかもしれませんが、そうではありません。いまあるお墓から新たなお墓にご遺骨の引っ越しをすることも含みます。ただ、お墓の継承者がいない、子どもに負担を掛けたくない、さまざまな事情で墓じまいが難しくなってきたなど、「墓じまい」を望む声は多いものの、なかなか踏み込めないのが現実のようです。実際に、改葬には行政への手続きやお骨の取り出し、既存のお墓の解体や処分、新しい納骨先へのお骨の受け渡しなど時間と労力が必要です。それでも最初のステップさえ踏み出せば、新しい納骨先へのご案内や、自宅で供養する方法、散骨などの選択肢が増え、私たちができるサポート

も広がります。墓じまいの際には菩提寺との長い付き合いからトラブルになるケースもあります。まずは相談していただきたいと思えます」

誤解も多いお葬式と供養。イメージだけで選ばない

供養の形が多様化するなか、誤解や捉え方の相違からトラブルになるケースもあると言います。「たとえば、火葬式を「亡くなった当日に火葬を行う」と誤解している方も多いのですが、「火葬のみを行うお葬式」という意味です。また、需要が高まっている海洋散骨も、ご遺族の船酔いや悪天候で満足のいく供養が行えないこともありえます。イメージ先行で決めるのではなく、よく調べてデメリットも考慮することが大切です。また、葬祭費給付金制度など、申請が必要な公的制度の存在を知っておくことも大事です。もちろん私たちも正しい情報を発信していくことが務めだと考えます」

最近では本人に限らず、家族を心配して相談するケースも増えているそうです。

「お葬式はしない」「墓はいらない」「骨は全部海にまいてほしい」と当人は望んでも、家族が同じ考えとは限りません。しかし、日常のなかでお葬式やお墓、相続といった内容を家族で話し合うのは難しいこともあるでしょう。そこでエンディングノートを活用する方法もあります。

島田社長は「供養の形に正解はありません。ご本人はどのように送られ、どう供養してほしいのか。見送るご家族はそれをどう受け止めるのか。元気なうちに話し合うことで、それぞれの「想い」を大切にしていただけだと思いますし、私たちはそうしたことをお手伝いする「人生トータルサポート」を目指しています」と話します。

次号はステップ②「自分の気持ちの整理と準備」メッセージノート(エンディングノート)の活用法をお届けします。

イオンライフは、お客さまのこれからに
ずっと寄り添い安心をご提供します

イオンライフ株式会社が葬祭事業に参入して10年。これからも、お客さまと生涯にわたりお付き合いができる、そんな信頼関係をずっと築ける企業を目指してまいります。

▶ イオンライフがご提供するサービス ◀

- お葬式
- 仏壇・仏具
- 墓地・墓石
- 永代供養墓
- 海洋散骨
- 墓じまい・改葬
- お香典返し
- 生前・形見整理
- 相続・遺言
- 身元保証
- ペット葬

専門のスタッフが24時間365日ご相談・ご依頼を承ります >>>

24時間 ツーワ ツーワ
0120-24-2828

イオンのお葬式

検索